

建設会報 いずも



No.123
2011年新春号



編集・発行人 (社)島根県建設業協会出雲支部
経営改善研究委員会

表紙の言葉



古事記編さん1300年

えと文 / 渡部良治

古事記（こじき、ふることふみ）は、その序によれば和銅5年（712年）太朝臣安萬侶（おほのあそみやすまろ、太安万侶〔おおのやすまろ〕）によって献上された、日本最古の歴史書といわれています。

原本は存在していませんが、上・中・下の全3巻に分かれ、後世の写本の古事記の序文に書かれた和銅年、および月日によって年代が確認されています。

「八岐の大蛇退治」や「因幡の白兎」など、お馴染みの神話が多く記されているほか、「古事記」に登場する神々は多くの神社で祭神としてまつられています。

古事記に登場する神話と古代出雲とのかかわりは深く、出雲神話のシンボルともいえる出雲大社は、いにしへの国づくりの裏面史の一端を物語っています。

島根県や観光関係者は、そうしたロマンに包まれた島根の観光を全国に売り出す絶好の機会としてとらえ、古事記編さん1300年や出雲大社の「正遷座祭」を挟む2010年度から2013年度をキャンペーン期間とし、神話にちなんだ多彩なイベントを繰り広げる計画です。



CONTENTS

- ▶ 巻頭言／中筋 豊通〔(社)島根県建設業協会出雲支部長〕……1
- ▶ 新年のご挨拶
 - ／平山 大輔〔国交省出雲河川事務所長〕……3
 - ／大田 忠司〔出雲警察署長〕……4
 - ／宮川 治〔出雲県土整備事務所長〕……5
- ▶ 経営事項審査基準の改正事項 ……6
- ▶ 公益法人制度改革により“一般社団化へ” ……7
- ▶ 平成21年度施工優良工事表彰／表彰一覧 ……9
- ▶ 優良工事知事表彰を受賞して／西 武志〔山陰建設工業(株)〕…11
- ▶ 優良工事表彰を受賞して／井上 英昭〔(株)今岡興産〕……12
- ▶ 卯年を迎えて／日下 雅彦〔クサカ建設(株)〕……13
- ▶ 年男の抱負／内藤 正和〔(株)内藤組〕……14
- ▶ 安全委員会視察報告／高橋 道夫〔大福工業(株)〕……15
- ▶ 視察研修旅行に参加して／岩崎 昭子〔(株)岩崎建設〕……16
- ▶ 編集後記／梶野 直宏〔経営改善研究委員〕……18



覚悟を、危機感を！ 産・官・公・民で知恵を！

(社) 島根県建設業協会出雲支部
支部長 中筋豊通

明けましておめでとうございます
本年も昨年同様、宜しく願い致します。

卯年、今年こそ良い年であって欲しい。

「卯」は『史記』律書によると「茂」（ほう：しげるの意味）『漢書』律曆志によると「冒」（ほう：おおうの意味）があり、モノが生まれる春の気を表していると言われています。「卯」にあやかって明るい年にしたいものです。

ところで、兎と言えば、

- ・出雲神話「ワニを騙した、因幡の白ウサギ」
- ・イソップ寓話「カメに負けた、居眠りウサギ」二つの話が有名で、悪いことをすると、自分に返ってきますよ。自信過剰はいけませんよ。また、コツコツと努力すれば、いつか大きな成果を得ることが出来ますよ。そう教えてくれていますが、私は、もう一つ兎が登場する童謡「待ちぼうけ」を思い出します。

待ちぼうけ 待ちぼうけ
ある日せつせと 野良かせぎ
そこへ兎が飛んで出て
ころり ころげた 木のねっこ

待ちぼうけ 待ちぼうけ
しめた これから寝て待とか
待てば獲ものは 駆けて来る
兎ぶつかれ 木のねっこ

待ちぼうけ 待ちぼうけ
昨日鍬とり 畑仕事
今日は頬づえ 日向ぼこ
うまい伐り株 木のねっこ

待ちぼうけ 待ちぼうけ
今日は今日ではで 待ちぼうけ
明日は明日ではで 森のそと
兎待ち待ち 木のねっこ

待ちぼうけ 待ちぼうけ
もとは涼しい黍畑
いまは荒野の箒草
寒い北風 木のねっこ

（韓非子の説話「守株待兎」を元に北原白秋が作詞、
山田耕筰が作曲した童謡）

木の根っこに兎がぶつかって死んだ、そうか……。あの日から、兎が飛び込んで切り株にぶつかるのを只ひたすら待つだけの農夫、まさに、我々に警鐘を鳴らしている歌ではないでしょうか。古いしきたり、慣習にこだわると、取り返しの付かないことになる。

グローバル化、公共事業費の大幅削減・受注の減少、競争激化、落札率の低下・赤字受注、資金繰り悪化、経営不振……。

未だ成功体験から脱皮できず、夢を追い続けていないでしょうか。

平成8年度4万6千人だった建設業従業員数が、平成18年度3万4千人に、10年間で1万2千人も減少しました。品質と安全を追求するためには、技術者育成が大切な建設産業界ですが、若者が喜んで飛び込んで来てくれるでしょうか、魅力ある業界創りを、自己努力を怠っては破滅です。

今年度から青年部を中心に、PPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ=事業の企画段階から官民が協力して公共サービスを運営し、行政の効率化を目指す取り組み）の勉強会を開始しました。産・官・公・民が一緒になって知恵を出し汗をかく時代が来たのです、覚悟を、危機感を、出雲支部も殻を破り前向きに行動し頑張ってください。

ありがとうございました。





新年のご挨拶

国土交通省中国地方整備局
出雲河川事務所

所長 平山大輔

新年あけましておめでとうございます。(社)鳥根県建設業協会出雲支部の皆様方におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、平素より当事務所が取り組んでおります斐伊川の治水事業、河川環境事業等への取り組みへのご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

斐伊川水系では、治水、利水、環境に関する長期的な方針を示した「斐伊川水系河川整備基本方針(平成21年3月改定)」を踏まえ、昨年9月に今後、概ね20年間における河川整備の目標、河川工事、維持管理等の内容を定めた「斐伊川水系河川整備計画(国管理区間)」を策定いたしました。

今後の河川整備にあたっては、本計画で示しております以下の治水、利水、環境事業の基本理念に基づき邁進して参ります。

- 安全・安心な暮らしを守る(治水)
- 豊かな暮らしの営みを支える(利水)
- 特徴的で良好な環境及び景観を次世代に引き継ぐ(河川環境)

治水の取り組みとしては、平成22年度内に上流の尾原ダム、志津見ダムが完成する予定となっております。また、中流部における斐伊川放水路は全体で約9割の工事進捗となっており、このうち分流堰については平成23年度内完成が予定されております。下流部においては、中海湖岸堤について整備優先順位の高い短期整備箇所から順次事業を推進するとともに、大橋川の改修につきましても地域の方々のご意見を伺いながら、早期に治水効果が得られるよう計画的に事業を推進して参りたいと考えております。また、河川環境の取り組みとして、宍道湖、中海において浅場造成事業に取り組んで参ります。

本年も、地域から愛され、信頼される事務所を目指し、地域の皆様方のご意見に耳を傾け、流域に暮らす一人一人の安全安心の確保や豊かな環境の保全に努めて参ります。引き続き、より一層のご支援・ご協力を頂ければ幸いです。

最後になりましたが、本年における貴協会の益々のご発展と会員皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

出雲警察署
署長 大田忠司

新年明けましておめでとうございます。(社)鳥根県建設業協会出雲支部の皆様方におかれましては輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また昨年中は、お忙しい業務の中、暴力団排除活動や交通安全活動等の警察業務の各般にわたり、格別のご理解とご協力を賜りましたことに対して厚く御礼申し上げます。

昨年中の出雲警察署管内の治安情勢は、昨年10月末現在の各統計によれば、重要凶悪犯罪の発生件数や交通死亡事故件数は、いずれも前年と比較して減少しております。

しかし、県内においては、一昨年に発生した県立鳥根大学女子大生殺人事件については未だ犯人の検挙に至っておらず、また、社会問題化している振り込め詐欺については、次から次へと新手の手口による被害が発生し、当署管内においても、昨年中多数の被害が発生していることから、本年もさらなる被害防止の諸対策をすすめると同時に、未解決事件の検挙に向けて誠心誠意努めていく所存であります。

ところで本年は、暴力団六代目山口組組長が刑務所を出所する予定であり、県内における山口組傘下の団体も、組長の出所とともに勢力拡大を狙っており、その資金獲得のため、暴力団組員が建設工事の現場に作業員を派遣し、その賃金を不当にピンハネする等して資金を得ようとしています。

出雲警察署管内では、皆様のご協力により長年にわたり暴力団の進出を許しておりませんが、勢力拡大を狙う団体がいつ進出してくるかわかりません。したがって今後も暴力団などいない、明るく住みよい社会を維持していくため、皆様方には引き続き

- 暴力団を利用しない
- 暴力団を恐れない
- 暴力団に金を出さない

の『暴力団追放三ない運動』の実践をお願いしたいと思います。

出雲警察署といたしましては、今後も協会の皆様と緊密な連携を図りつつ、犯罪のない安全で安心なまちづくりの実現に署員一同全力で取り組んで参りますので、変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年における(社)鳥根県建設業協会出雲支部の皆様方の安全と益々のご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。